

組立～工業包装： 工業包装現場の管理・監督

職務遂行のために必要な知識

（工業包装現場の管理・監督に必要な知識の理解と生産計画の策定）

- 工程管理を実施するにあたり、人及び機械に対する具体的な日程計画を立てている。
- 工業包装部門の作業計画及び教育訓練計画を立てている。
- 会社及び製造部門の方針・戦略に沿った工業包装部門の部門目標やアクションプランを策定している。
- 設備点検計画を織り込みながら、生産の日程計画を立てている。
- 工業包装技術の知識習得では現場の第一人者を目指し、自己啓発を徹底している。

（工業包装現場の管理・監督）

- 職場の安全衛生管理に関する具体的な施策を実施している。
- 工業包装に関する製品及び部品の作業工程の進捗管理を行っている。
- 材料、加工品、製品等の現品管理を適切に行っている。
- 工業包装工程の作業管理を実施するにあたり、作業測定を行い、標準時間を設定したうえで作業標準（マニュアル）を策定している。
- 動作分析に基づき、改善活動を実施している。
- 統計分析や品質管理手法を活用し、TQCを実践している。
- 収益構造の問題点を把握し、原価引き下げのための方策を立てている。
- 現場における問題解決にあたり、応急的な解決と抜本的な対策との選り分けを行い、検討に必要な実績記録を収集し、総合的に判断している。
- 部下や後輩に対して個々人の適性を踏まえながら、OJTにより専門的実務指導を行い、各人の仕事に対する動機づけを高めている。
- 部下の心身の健康状態に留意し、メンタルヘルス等の相談にのっている。

（業務の検証と評価）

- 設備の点検及びその対策を実施している。
- 工業包装現場における管理監督者のあるべき姿を、自社・自部門のおかれた環境に照らし合わせ、問題がある場合には解決策を提案している。
- 製造部門、物流部門など、他部門に関連する業務フロー全体に関する問題点を洗い出し、課題解決の具体的なアクションを起案・実行している。
- VE手法等の改善ツールによって、生産性向上に関する定量的な検証を行い、その結果を明日の業務遂行に役立てている。

（必要な知識）

1. 工程管理 （生産活動の流れ、生産の形態、工程管理の役割、日程計画、現品管理、進捗管理、余力管理、在庫管理）
2. 作業管理 （作業の標準化、方法研究、作業測定の方法、作業改善）

3. 品質管理（品質管理の考え方、統計の基礎知識、品質管理手法とその活用、管理図の種類及びその活用、抜き取り検査の種類とその活用）
4. 原価管理（原価管理の考え方、原価構成要素、原価低減とその評価）
5. 安全衛生管理と環境の保全（安全衛生管理、環境保全、公害防止）
6. 作業指導（教育訓練計画のたて方と教育訓練の実施、仕事の教え方（TWI-JI）、改善の仕方（TWI-JM）、人の扱い方（TWI-JR）、教育訓練の方法）
7. 設備管理（設備管理の考え方、設備点検の方法、不良事項の原因及びその徴候、設備診断、設備と環境の関係）
8. 工業包装に関する現場技術・自動工業包装装置・梱包・包装装置・材料（木材、合板、ダンボール、緩衝材）・測定機器及び検査機器
9. 労務管理、メンタルヘルスなど人事管理全般に関する知識